光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2018年5月号>

134号 2018.05.01 配信

新緑の季節です。関東地方では早くも「真夏日」で半袖の日もありました。 学園の新入生たちは新しい生活に慣れてきたでしょうか。 第45回光葉同窓会総会を新潟で開催します。皆様との再会を楽しみにしています。

■学園だより

- ・5月2日(水)は昭和女子大学の創立記念日です。 本日、創立98周年記念式が執り行われました。
- ・2018 年度 大学志願者数は、志願者数 10,000 名以上の女子大学で、昭和女子大学は全国女子大のトップでした。(昭和女子大学志願者数 12,108 名)
- ・昭和女子大学キャリアカレッジ 2018年度「女性起業家養成コース」受講生募集開始(4月21日より)

起業のタネや新規事業プランを持っている女性向けに3回というコンパクトな時間で、事業プランをブラッシュアップするコースです。

-2018年6月24日(日)、7月8日(日)、7月22日(日) 13:00~17:00 全3回-受講料 70,000円(消費税込)

申込締切 5月31日(木)

➡詳細の問い合わせ先

昭和女子大学ダイバーシティ推進機構キャリアカレッジ事務局

E-mail swu-diversity@swu.ac.jp Tel 03-3411-9483 Fax 03-3411-5130

■同窓会だより

※5月21日(月)・22日(火)は、支部長会と総会開催に伴う代休日となります。 ※4月1日付で光葉同窓会報90号を発行しました。

• 全国支部長会 開催日 5月19日(土)

支部長会 朱鷺メッセ 17:00~19:00

懇 親 会 ホテル日航新潟 19:30~21:00

• 第45回 光葉同窓会総会開催 開催日 5月20日(日)

会 場 ホテル日航新潟 4階「朱鷺」

総 会 10:30~11:25 (受付開始 10 時)

懇 親 会 13:00~15:00

• 光葉同窓会新潟ツアー 村上瀬波温泉

日 程 5月20日(日)~21日(月)

宿 泊 新潟県瀬波温泉 大観荘せなみの湯

コース 庭園めぐり、名産探訪、酒蔵見学⇒割烹 新多久にて昼食

■広げよう光の葉

阿久津 明子さん

1990年 国語国文学科卒(東京都東南7区支部)

卒業してから現在まで同じ会社に勤めています。当時は就職も売り手市場。内定 をいくつかもらう中で私が選んだ会社は出版社!と思いきや実は出版社様と全 国の書店様をつなぐ流通(出版取次)の会社でした。聞き馴染みがないかもしれ ませんが出版物の問屋です。そんな私が最初に配属されたのは海外営課。新入社 員研修で希望していたのは雑誌部だったのでなんでよりによって外?在学中は 英語も第二外国語の中国語も苦手科目だったにもかかわらずアジア地区担当(韓 国、台湾、香港、タイ etc)となり、一から営業と輸出業務を勉強させていただ きました。日本の書籍や雑誌を専門に扱う取引先様だけあって、私のような若輩 者よりずっと日本語の堪能な方ばかりで毎日が勉強、勉強の日々でした。取引先 の皆様には本当に可愛がっていただき、当時知り合った現地の担当者様とは今で も個人的に交流があります。7年目に同じ課の同僚との結婚を機に初めての異動。 当時ニューメディア営業部という書店様で扱う書籍、雑誌以外の商品(例えば CD、DVD、ROM、ゲームソフト等)の仕入販売部署で19年、3年前から 会社の本業である書籍部に異動となりました。毎日何百点も発売される新刊や重 版仕入の事務管理をする業務に携わっています。現在では主流のネット販売や中 古本を扱うチェーン店の台頭、コンビニでの雑誌販売と街の本屋さんを取り巻く 状況は厳しく、都心部ではまだ大型書店があるので実感が乏しいかもしれません が、地方都市では街に本屋さんがない地域も顕著になってきました。出版流通に 関しては公共図書館や、学校への採用品納品ももちろん重要な役割としてありま すが、このままだと街の本屋さんで本に触れ合う機会がどんどん少なくなってし まいます。今の若い世代はデジタルネイティブと言われ生まれた時からスマホや PC が身近にあり電子書籍などに抵抗がないようです。教科書がタブレットで配 信されるなど情報は手書きではなく写メで済む現代、本や雑誌の紙の手触りを当 たり前に思っている我々世代から考えるとそう遠くない未来には書店のあり方 も変わっていくのでしょう。カフェ併設や雑貨とのコラボ販売や読書イベント発 信など書店の新しいカタチを提案しつつ、知識の源泉は本に有りと、将来も紙の 本は無くならないと信じて今の仕事に日々励んでいきたいと思います。同窓生の 皆さんもたまには本屋さんで新しい本や雑誌を手にとって見てくだいね。そこに はネットでお勧めされる限られたタイトルだけではなく、無限の新たな出会いが あるはずです。 [End]